

会議名	令和7年度 第1回 地域連携推進会議	
開催日時	令和7年12月23日(火) 14時00分～16時00分	
開催場所	伊豆ライフケアホーム 2階会議室	
出席者	地域連携推進委員	伊豆ライフケアホーム
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者代表</li> <li>・家族代表</li> <li>・地域代表</li> <li>・有識者</li> <li>・函南町</li> </ul> <p style="text-align: right;">5名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長</li> <li>・課長兼サービス管理責任者</li> <li>・課長補佐</li> <li>・サービス管理責任者</li> </ul> <p style="text-align: right;">4名</p>
施設見学	各階の利用者の様子と居室、浴室、食堂などを見学する。	
	(協議内容・質問・意見等)	
質問	避難経路について	
回答	ベランダが回廊になって2方向に避難できる。	
意見	身体障害者施設と知的障害者施設との違いが分かった。入浴についても安心して入浴できていることが分かった。	
質問	入浴の温度設定について	
回答	機械浴は40度～41度で設定している。個浴は、職員が浴槽に手を入れて確認している。利用者の好みの温度にも対応している。	
質問	地域住民を招いてのイベントはあるか？	
回答	以前は8月に納涼祭を実施していたがコロナ禍と近年の酷暑で中止になった。11月に共済福祉会まつりには、家族やボランティアが参加した。	
意見	先輩職員から後輩職員への指導でハラスメントに注意しているのが分かるが指導すべきところはしっかり指導すべきではないか？	
回答	指導や注意の仕方には気を付けている。今後も模索しながら指導していきたい。	
意見	利用者からの意見書(投書)について	
回答	年間2枚程度ある。内容によっては個別ではなくて全体に周知した方が良い内容もある。今回の意見書については、全体に周知したことで改善出来ているのではないか。	
意見	意見書の形式について疑問がある。利用者からの意見だけでは職員の不満が溜まってしまわないか？なぜそうってしまったのか背景や理由も書いた方が良いのではないか？	

質 問	ICT 化は職員にとって有効か？
回 答	インカムで応援職員を呼んだり申し送りも行ったりしている。眠りスキャンも夜間の巡回を減らして利用者の安眠に繋がっている。ただ、ICT 化をしてもマンパワーによる部分が多い。
質 問	職員の採用は厳しいか？
回 答	伊豆ライフでは、実習生の受け入れを行っている。実習内容を充実することで当施設を希望し採用に繋がっている。
意 見	災害時の安否確認については、施設や病院の方は安心だが地域で生活している方の安否確認をどうすれば良いか不安である。
質 問	日中活動については静岡県障害者文化芸術活動支援センター みらーと(質問者の施設では)の活用をしているが集団での活動にも限界がある。伊豆ライフでスケジュール化して取組んでいる日中活動はあるか？
回 答	伊豆ライフでは、集団よりも個々で活動している。集団としては、全体での行事や理学療法士による集団でのレクリエーションがある。
意 見	利用者からのハラスメントについては、多くが心の安定が関わっている。今までハラスメントが無かった方がハラスメントをするのは、心が安定していない。なぜ安定していたのか？なぜ安定しなくなったのか？背景を分析、議論することが大事ではないか。
	以上